

整理番号 2017M-075  
補助事業名 平成29年度アジアサプライチェーン展開支援調査研究補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 国際貿易投資研究所

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

ベトナムの輸出構造・競争力の変化、サプライチェーン構築の基盤となる交通インフラの現状・課題、中国を含めた調達の現状、国営企業や地場民間企業の日系企業サプライチェーンへの参画可能性と企業の発掘等を現地研究者との共同研究を通じて明らかにする。

さらに、既進出日系企業それぞれの現状と課題について、現地調査を通じて多面的に捉える。上記の調査結果に基づいて、裾野産業のフロンティア市場展開を円滑化するための政策提言として取りまとめる。

### (2) 実施内容

アジアサプライチェーン展開支援調査研究 (<http://www.iti.or.jp>)

ベトナムの貿易、直接投資、物流インフラ、産業人材育成、経済成長戦略について調査を実施した。

期間中、3回の研究会を開催し、関連分野の専門家各氏から委員に対して研究内容についての助言をいただいた。また、ベトナムのダナン、ハノイと両都市の周辺地域において現地調査を実施し、日本と現地政府機関、企業、ビジネス支援機関などから多大な協力をいただき貴重な情報を入手することができた。

また、「ベトナムセミナー「ASEANの新輸出大国 ベトナム、チャイナ+1の本命」」セミナー及び「ASEANの新輸出大国ベトナムの躍進 課題と展望」セミナーを開催した。

### <研究委員会>

第1回研究会開催 平成29年 5月17日  
第2回研究会開催 平成29年 8月 4日  
第3回研究会開催 平成29年10月27日



### <セミナー>

「ベトナムセミナー「ASEANの新輸出大国  
ベトナム、チャイナ+1の本命」」セミナー開催

平成30年 3月 9日



「ASEAN最新事情講座：ASEANの新輸出大国、ベトナムの躍進、課題と展望」セミナー開催  
平成30年3月13日



## 2 予想される事業実施効果

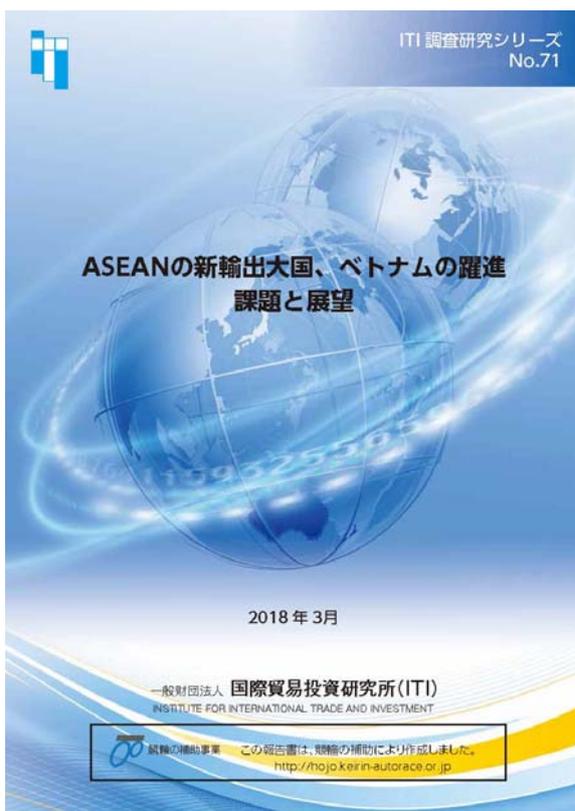
分析の結果、ベトナムは新たな輸出大国として躍進しつつも、今後も輸出の拡大を持続するには同国の貿易、直接投資、物流インフラ、産業人材育成、経済成長戦略について取り組みが求められることが明らかになった。ベトナム国内でサプライチェーン開発が進んでいくことは日系企業と現地企業の双方にメリットをもたらすことから、今後こうした課題に対応することが期待される。

## 3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

「ASEANの新輸出大国ベトナムの躍進 課題と展望」報告書

[http://www.iti.or.jp/report\\_71.pdf](http://www.iti.or.jp/report_71.pdf)



目次	
第1章 ASEANの新輸出大国、ベトナム	1
要約	1
第1節 ASEAN 貿易におけるベトナム	1
1. 域外貿易ではベトナムが高成長トップに	1
2. ASEAN 貿易圏別貿易におけるベトナム	3
第2節 ベトナムの貿易構造変化	6
1. ベトナムの貿易成長率	6
2. ベトナムの貿易の長期的トレンド	8
3. 業種別貿易構造の変化	9
4. 国別業種別	14
第3節 ベトナムの貿易収支	17
第4節 ベトナムの貿易拡大の影響	18
1. 米国の輸入に占めるベトナム	18
2. 韓国とベトナムの貿易の歴史化	20
3. 対中国貿易における水平分業の動き	23
4. 日本の対ベトナム貿易	24
第5節 海のアジア貿易における新たな課題	26
1. 海のアジアの貿易	26
2. 中国企業、韓国企業が牽引	27
3. 再評価されたベトナム	28
4. 課題	29
第2章 日本企業のベトナム進出の現状 ～製造業関連分野での動きを中心に～	31
要約	31
はじめに	31
第1節 日本企業のベトナム進出の概況	32
第2節 国別に定めたベトナム進出日系製造業企業の動向	34
1. 輸出志向型製造業	35
2. 内需志向型製造業	35
3. 拡張・再投資案件	36
4. 高付加価値製品の生産や、最先技術導入も数見	36
5. "チャイナプラス1"、"タイプラス1"への対応としての進出	37
第3節 ASEAN 域内関税協定の影響	37
第4節 製造業関連サービス業での日本企業の進出状況	39

1. 物流関連	39	第8章 東西経済回廊	109
2. IT、BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）関連	39	引用文献	110
第5章 変化する製造業企業のベトナム進出に向けて	40	第5章 ベトナムにおける産業人材育成	112
おわりに	42	要約	112
参考文献	43	はじめに	112
第3章 プームが続く韓国企業のベトナム進出	45	第1節 産業人材育成関連機関の事例	114
要約	45	1. Danang Center for Supporting Enterprises (DNCSE)	114
はじめに	46	2. Assistance and Development Center for SMEs (SME-DATADC)	115
第1節 韓国の対ASEAN直接投資の動向	46	3. Small and Medium Enterprise Promotion Center (SMEPC)	116
1. 対ASEAN直接投資の推移・近年はベトナムが4割を占める	46	4. Ha Noi University of Industry (HaUI)	118
2. 業種別累計額でみた対ベトナム直接投資の特徴・高い製造業比率	48	5. Vietnam Japan University (VJU)	119
第2節 対ベトナム直接投資の推移	49	6. Vietnam - Japan Institute for Human Resources Development (VJOC Ha Noi)	121
1. 3回のベトナム投資プーム	49	7. Danang Vocational Training College (DanaVTC)	123
2. 韓国企業にとってのベトナムの魅力	53	8. Top Olympia School	125
第3節 最近の主な韓国企業のベトナム進出事例	55	第2節 企業の事例	128
1. 生産拠点構築を目的としたベトナム進出事例	55	1. CNC工作機械製造A社	128
2. 消費市場の獲得を目的としたベトナム進出事例	60	2. 重量測定システム製造施工B社	129
第4節 韓国企業のベトナム事業の収益性と課題点・課題	63	3. 紙幣計数機引換販売C社	131
1. 在ベトナム韓国系企業の収益性・アジア平均を下回る	63	4. 栄養食品製造D社	133
2. 在ベトナム韓国系企業が直面している課題点	65	5. ステンレス鋼管製造E社	134
3. 韓国企業にとっての今後の課題	67	おわりに	136
第5節 おわりに・今後の展望と日本企業にとっての機会	69	引用文献	137
1. 当面続く見通しの韓国企業のベトナム投資プーム	69	第6章 ベトナム経済を考える：現段階の課題と展望	138
2. 韓国企業のベトナム進出を機会に	71	要約	138
別表 韓国企業のベトナム進出主要事例（2016～17年）①	73	はじめに	138
参考文献	79	第1節 中等所得の国を回遊するための成長戦略	139
第4章 ベトナム北中部における輸送インフラと物流状況	81	第2節 FDI主導型成長の課題と展望	141
要約	81	おわりに	145
はじめに	81	引用文献	146
第1節 ベトナム北部と中国華南	82		
第2節 ハノイ経済圏	84		
第3節 ハノイ～ハロン～モンカイの「東部経済回廊」	87		
第4節 ハノイ～ハイフォン間の産業集積	92		
第5節 ダナン経済圏	103		
第6節 「国際リパブル都市」のモデルか	108		

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人国際貿易投資研究所（コクサイボウエキトウシケンキュウシヨ）

住所： 〒104-0045

東京都中央区築地1丁目4番5号

代表者： 理事長 畠山襄（ハタケヤマノボル）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 審議役 寺川光士（テラカワコウジ）

電話番号： 03-5148-2601

F A X： 03-5148-2677

E-mail： webmaster@iti.or.jp

U R L： (<http://www.iti.or.jp>)